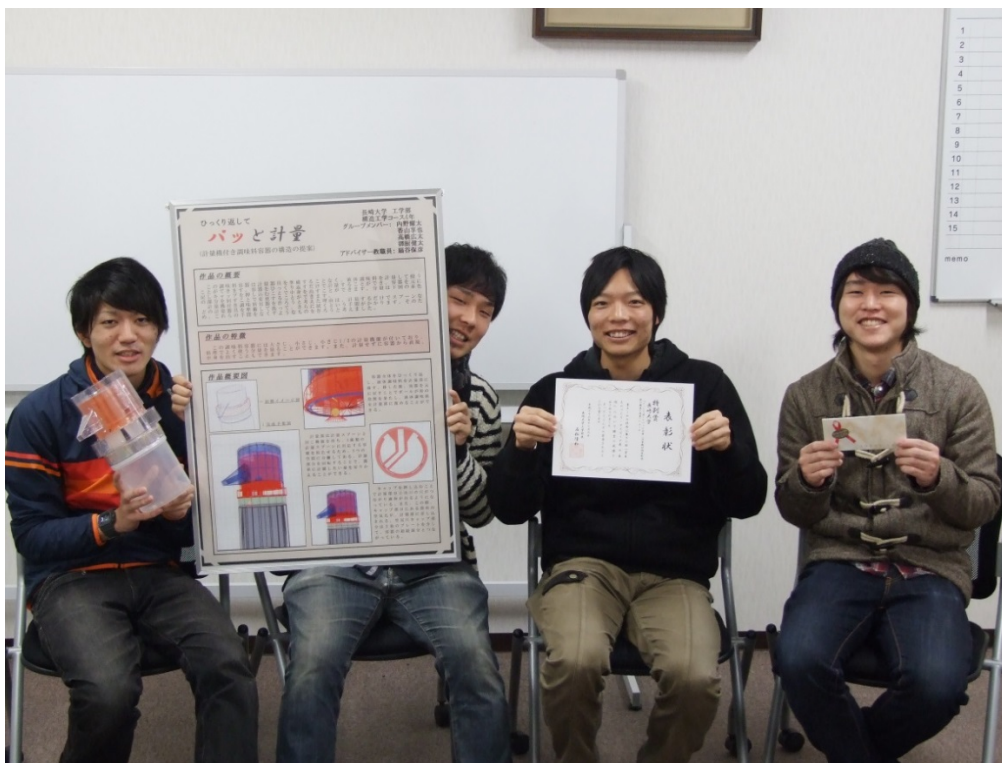


工学部構造工学コース4年の内野耀太さん、香山亨也さん、高橋広太さん、御厨健太さんが特別賞を受賞しました。



左から内野耀太さん、香山亨也さん、高橋広太さん、御厨健太さん

工学部構造工学コース4年の内野耀太さん、香山亨也さん、高橋広太さん、御厨健太さんの4名は、平成26年12月6日に開催された第12回「学生ものづくり・アイデア展 in 長崎」において、工学基礎科目「創成プロジェクト」（アドバイザー教員：扇谷保彦准教授）で製作に取り組んだ作品「ひっくり返してパッと計量（計量機付き調味料容器の構造の提案）」を出展し、特別賞を受賞しました。

「学生ものづくり・アイデア展」は、長崎大学、新潟大学、富山大学の3大学の学生が課題探求や創作活動に主体的に取り組んだ成果をコンテスト形式で競い合うイベントであり、今年度は20チームが作品を出展しました。

特別賞はメインテーマである“人が喜ぶものづくり”に最もふさわしいチームに授与される賞です。「ひっくり返してパッと計量（計量機付き調味料容器の構造の提案）」のチームは、自炊時に面倒さから調味料をちゃんと計量しなかった結果、せっかく調理したものが不味かったという経験から計量スプーンなしでも調味料を容易かつ正確に計量するにはという課題に取り組み、計量機付き容器を考案しました。コンテストでは、普段の暮らしの中に見出した課題に対する解決策として示されたアイデアの斬新さと実用性が高く評価されました。